

担い手農業者等との意見交換概要（平成28年4月～平成29年3月）

NO	開催日	関係市町村 区域等	参加者	主な意見	意見を踏まえた改善点等
18	28.4	全域	中間管理事業借受申出者 アンケート調査 293者	優良農地を紹介してほしい（借りるのに適当な農地がない） 農地中間管理事業の周知 手続きの簡素化 借受期間の短縮 圃場整備や農道など基盤整備推進	国への提言（手続きの簡素化、貸付期間の短縮と交付金の適用） 5年・10年の貸付期間に加え3年を追加 制度の周知強化による優良農地の掘り起こし
19	28.4	全域	指導農業士 アンケート調査 124者	制度の内容がよくわからない 農地中間管理事業を活用せず貸借している 貸し出し農地情報を地図等でオープンに公開してほしい	指導農業士の会議に出席し、事業説明（6月）
20	28.5.13	阿南市 新野	農事組合法人しげとも 阿南市農林水産課 阿南市農業委員会 農業開発公社	地域集積協力金の活用に向け、中間管理事業を活用したいが、集積地の一部について換地が完了していない	旧地番・面積に加え、新地番・面積を記入し手続きを行う
21	28.5.18	小松島市 立江、櫛淵 阿南市 見能林 新野 美波町 西河内	担い手農家 農業開発公社	貸付期間10年が長すぎると考える貸し手はほとんどいない 3年・5年を加えることで選択肢が増え、説明はしやすいが、更新手続きの期間が短くなり、未整備の圃場が集まりやすくなるなどが懸念される	新規貸し付け面積が増加するよう、メリット措置を県と検討する
22	28.6.15	阿波市	阿波市農業法人協会会員 阿波市産業振興課 吉野川農業支援センター 農業開発公社	農地を集積し増産したいが、主となる人材が定着しない 優良農地の貸し出しが少ない	

23	28.6.29	徳島県全域	徳島県指導農業士 県経営推進課 農業開発公社	指導農業士を対象にしたアンケート結果報告 すでに利用権設定を行っているが、中間管理 事業に乗り換える協力をするが、その際担い手 へのメリット措置を検討されたい 農地中間管理事業と利用権設定等促進事業が 併設しているのが疑問	担い手に対するメリット措置 を県と検討
24	28.7.5	阿南市 新野地区	担い手（集落営農法人） 阿南市農林水産課 阿南市農業委員会 阿南農業支援センター 農業開発公社	集落営農法人への農地集積と地域集積協力金の 活用について、新規集積や借り換えについて、 仮換地の農地がある。 年内の知事広告に向けスケジュールがタイト	集積計画と配分計画を公社で 作成 市町村広告に合わせ、同時並 行で作業を進める
25	28.7.7	美波町 赤松地区	担い手 美波町産業振興課 赤松地区農業委員 美波農業支援センター 農業開発公社	地域集積協力金のエリア設定を赤松地区全体で は大きいので、担い手の状況や水系単位等を考 慮し検討 年度内完了には、スケジュールがタイト	担い手の状況を確認しながら 検討する 集積計画と配分計画を公社で 作成 市町村広告に合わせ、同時並 行で作業を進める
26	28.8.2	美波町 赤松地区	担い手 美波町産業振興課 赤松地区農業委員 美波農業支援センター 農業開発公社	耕作放棄地を保有していると経営転換協力金の 対象にならないのか 条件の悪い農地も借り受けしてもらえるのか 農地台帳の面積と実情が合っていない	担い手の連携による地域での 集積率向上を推進する
27	28.9.23	小松島市坂 野地区	農業者（目佐） 小松島市農林水産課 農業開発公社	農地中間管理事業について 貸し手側からの中途解約はできるか 新規就農者は借りれるか	事業の周知を徹底する
28	28.9.29 30	阿波市 医王寺地区	担い手 阿波西部土地改良区 阿波市農業振興課 県農業基盤課 吉野川農業支援センター 吉野川農村支援担当 農業開発公社	農地耕作条件整備事業の実施地区における農地 集積について、10年間の貸借は出し手が不安	県単独の経営転換協力金制度 (3年・5年で対象)を活用し集 積を推進する

29	28.10.12	農業委員研修	農業委員 県農業会議 県農業基盤課 農業開発公社	農地利用最適化推進委員との連携のあり方について 遊休農地の貸借をどう推進するか	最適化推進員との連携により 集積を強化する
30	28.10.13	県農業会議 常設審議会	審議会委員 県農業会議 県農業基盤課 農業開発公社	遊休農地の借り手は見つからない 利用権設定等促進事業から中間管理事業へ乗り 換えるメリットは	次年度設置の農地最適化推進 委員との連携を推進する
31	28.10.14	美波町 赤松地区	担い手 畜産経営法人 美波町産業振興課 赤松地区農業委員 美波農業支援センター 農業開発公社	主食用米では収入が確保できないので、WCS を利用した営農について説明して欲しい。	主食用米とホールクロップサイ レイジを組み合わせた集積 を畜産農家と連携し推進する
32	28.10.17 21 25	認定農業者 会研修 (3カ所)	認定農業者 中国四国農政局徳島支局 県農林水産政策課 県農業基盤課 日本政策金融公庫徳島支局 農業会議 農業開発公社	認定農業者は施設園芸や菌床椎茸など土地利用 の少ない農家が多い 野菜作に向く、耕土が深く肥沃な農地が借りたい	借り手登録を行っていない認 定農業者に登録を働きかける
33	28.11.10	阿南市	担い手(水稻) 阿南市農林水産課 農業開発公社	中間管理事業で、農地を借りたいが、使ってみると 水利等問題点がある場合がある。 事前の情報提供があればありがたい	マッチングの際情報共有を図 る。担い手にはできる限り現 地確認を依頼する。
34	28.11.24	三好市 馬路地区	担い手(ありがたや) 県農業基盤課 県高度技術支援課 三好市産業振興課 三好農業支援センター 農業開発公社	法人設立と農地中間管理事業への取り組みスケ ジュールの確認 新法人の経営安定のための野菜策導入	法人の設立、運営について関 係機関が連携し取り組む

35	28.12.12	阿南市 楠根地区	担い手法人 楠根町協議会総代ほか 阿南市農林水産課 阿南農業支援センター 農業開発公社	(楠根町協議会) 地域とともに農業を盛り上げてほしい 楠根地区では、夏場に冠水する場合がある。 (担い手法人) お茶は冠水しても、速やかに水が引けば大丈夫。	農地情報を事前に示す。 地域外からの新規参入法人が スムーズに地域に溶け込める よう支援する。
36	28.12.12	三好市 馬路地区	担い手(ありがたや) 県農業基盤課 県高度技術支援課 三好農業支援センター 農業開発公社	集落営農法人設立支援 新法人の運営支援 地域農家の意向調査の実施	関係機関が連携し、法人設立と 運営支援を実施
37	28.12.19	阿南市長生 町大原地区	集落営農法人 阿南市農林水産課 阿南農業支援センター 農業開発公社	地域の生き残りを図るには、集落営農しかない。 中間管理事業を活用して、スムーズな集落営農 に取り組みたい。	事業の仕組みを説明するとともに、28年度中の取り組みに ついて支援
38	29.1.12	小松島市	担い手(人農地プラン) 認定農業者 小松島市 徳島農業支援センター 農業開発公社	貸した農地の周辺の草刈りは、耕作者(担い手) がするのが当然である。 水利費は、貸し手・借り手のどちらが払うのか。	中間管理事業で貸借する場合 の仕組みについて説明。 出し手・受け手との連携のあり 方について検討。
39	29.2. 3	海陽町穴喰 角坂地区	担い手(水稻) 担い手(藍栽培) 海陽町産業観光課 農業開発公社	角坂地区で6 ha 借りて耕作していた担い手が亡 くなり困っている。 藍栽培を借地で行いたい	中間管理事業の推進を通して、 担い手の掘り起こしや、藍裁 培の推進を支援する。
40	29.2. 9	阿南・小松 島地区	担い手法人(茶・大麦若葉) 阿南市農林水産課 農業開発公社	前回の楠根地域での話し合いで、お茶をつくる ことについて様々な問題が提起され、不安感 がある。代替え作物として大麦若葉の栽培を行 いたい。	大麦若葉加工施設について、 先進事例を案内。
41	29.2. 28	小松島市坂 野地区	水稻担い手法人 J A 東とくしま 小松島市農林水産課 農業開発公社	農地集積をさらに進めるため、担い手で法人を 設立し、ライスセンターを設置したい。	ライスセンターの設置を契機 として中間管理事業を更に推 進していく

4 2	29.3. 8	阿南市那賀川地区	今津南部土地改良区理事長・理事 阿南農業支援センター 阿南市農林水産課 農業開発公社	担い手が少ないので、営農組合方式で、水稲栽培を継続するとともに、耕作放棄地を出さないようにしたい。	農業支援センターとともに集落営農法人の立ち上げを推進。
		阿南市桑野地区	水稲担い手 阿南市農林水産課 農業開発公社	大型機械も導入したので、まだまだ農地借り入れを拡大したい。地域には自分以外の担い手も複数おり、中間管理事業について説明して貰いたい。	担い手が連携し、地域集積協力金の交付による集積拡大をさらに推進する
4 3	29.3.13	小松島市	担い手・認定農業者 中国四国農政局徳島支局 日本政策金融公庫徳島支店 徳島農業支援センター 農業開発公社	大規模な担い手が農地を借りると、農地の管理が十分できない。 10年先には、離農するがその時に中間管理事業にお願いしたい。 市街化区域に農地を持っているが、なんとかならないか。	用排水管理や除草などについて、出し手・借り手の役割分担を契約時に指導する。  制度の周知
4 4	29.3.16	徳島市徳島地区	(人・農地プラン) 担い手 認定農業者・農業委員・JA・農業開発公社・徳島市農林水産課	市街化区域の農地で営農している農家に対する中間管理事業による支援を検討してもらいたい。	
4 5	29.3.21	徳島市多良地区	(人・農地プラン) 担い手 認定農業者・新規就農者・農業開発公社・徳島市農林水産課	新規就農者は、地域の主要な経営体を持つ技術・営業情報を知りたい。どうしたらいいか。	農業支援センターや担い手のグループを紹介する
4 6	29.3.22	徳島市国府地区	(人・農地プラン) 担い手 指導農業市・認定農業者・農業委員・JA・農業開発公社・徳島市農林水産課	人・農地プランに記載の「農地情報」は、近い将来農地の出し手となる人が記載されている。農地を探す者にとってもう少し具体性がある計画として欲しい。 離農する人の農地を借りる場合、いいところ取りは出来ず不良農地も付いてくる。機構が借りるなどいい方法はないか。	人・農地プランの実現性について市町村と協議する。

47	29.3.22	徳島市北井上地区 南井上地区	(人・農地プラン) 担い手 認定農業者・農業委員・ JA・新規就農者・農業開 発公社・徳島市農林水産課	認定就農者が早く一人前になるよう積極的な支 援体制の構築が必要 優良農地は近隣農家がよく知っているのですぐ 利用権による貸借を進めるが、補助事業活用等 を考慮すると、中間管理事業の活用も考えても 良いと思う。	平成29年度から農業次世代人 材投資事業に組替られ、営農 責任と支援体制が強化される。 補助事業の加点のためにも事 業を推進する。
48	29.3.23	徳島市川内 地区	(人・農地プラン) 担い手 認定農業法人・新規就農者 農業委員・JA・農業開発 公社・徳島市農林水産課	甘藷生産を法人で経営している。優良農地は地 域内で貸し借りされるため、機構登録の貸し付 け希望農地には、優良農地は少ない。	多くの農地が登録されるよう、 周知に努める。